

もう一度、
この世を見つめることが
できるとしたら



とつくしま

橋本紡 櫛島想史 小川末祐 楠田悠人 磯西真喜 柴田義之 安宅陽子 志村魁 小泉今日子
中澤梓佐 石井心寧 安光隆太郎 新谷ゆづみ 鈴木喜明 千賀由紀子 佐藤有里子 宇乃うめの 山下航平 山田結愛 村田凪 田名瀬輝年
富士たくや 富井寧音 松浦祐子 大槻圭紀 平松克美 熊崎踵花 大古知道

監督・脚本：東かほり 原作：東直子『とつくしま』（筑摩書房）

撮影：古屋幸一 照明：加藤大輝 録音：Keefar 美術：島智哉 スタ일리スト：中村もやし ヘアメイク：山田季紗 助監督：平波亘 制作：小林徳行 スチール：西島匡弘 編集：中村幸貴 音楽：大江康太
小金丸慧 入江陽 宣依：平井万理子 ラインプロデューサー：田中佐知彦 アソシエイトプロデューサー：大久保孝一 見玉健太郎 鈴木喜明 プロデューサー：市橋浩治 特別協賛：海色の地図 ラディアスセブン
エンディング曲：インナージャーニー「陽だまりの夢」制作：Ippo 製作・配給：ENBU ゼミナール 2024 | カラー | アメリカンビスタ | 5.1ch | 89分 ©ENBU ゼミナール



とりつきたいモノは、なんですか？

死んでしまったあと、モノになって大切な人の近くにいられるとしたら

introduction

『カメラを止めるな!』を生み出したENBUゼミナール「シネマプロジェクト」第11弾作品『とりつくしま』。長編デビュー作『ほとぼりメルトサウンズ』が、大阪アジア映画祭、ニッポン・コネクション(ドイツ)などに選出された東かほり監督が、母である東直子さんの小説『とりつくしま』(筑摩書房)を原作に、脚本・監督を手がけた特別な映画です。WSオーディションには399名がエントリーし、23名の俳優が出演。そして小説のファンである小泉今日子が、重要な役どころとなる“とりつくしま係”として物語に寄り添います。



人生が終わってしまった人々の前に現れる“とりつくしま係”は、「この世に未練はありませんか。あるなら、なにかモノになって戻ることができますよ」と告げる。夫のお気に入りのマグカップになることにした妻、だいすきな青いジャングルジムになった男の子、孫にあげたカメラになった祖母、ピッチャーの息子を見守るため、野球の試合で使うロージンになった母。人生のほんとうの最後に、モノとなって大切な人の側で過ごす時間。



2024 **9.6** 金 新宿武蔵野館ほか全国順次公開

全国共通 特別鑑賞券 ¥1,500 (税込) 好評発売中!



JR新宿駅中央東口 徒歩2分 武蔵野ビル3F

新宿武蔵野館

03(3354)5670 shinjuku.musashino-k.jp